



# 母なる川みんなで守ろう

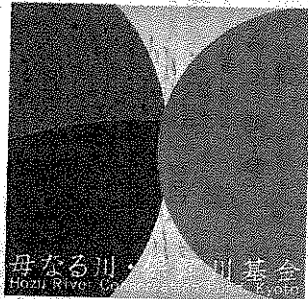
桂川（保津川）の環境保全に関連する市民活動の支援を目的とした「母なる川・保津川基金」がこのほど、開設された。亀岡市の市民団体の申請を受け、公益財団法人「京都地域創造基金」（京都市下京区）が設置。保津川基金への寄付を募り、市民団体の活動を資金面で後押しする。

同財団は、個人や法人からの寄付金をテーマ別に基金として積み立て、テーマに沿って活動する市民団体への助成金に当てる仲介役を担う。寄付金の使途が明確で、寄付した際に税制上の優遇措置が受けられるのが特徴。

## 保津川基金が誕生

保全活動支援の寄付募る

保津川基金の設置を申請したのは、保津川の美化を目指すNPO法人「プロジェクト保津川」と、



「母なる川・保津川基金」のロゴマーク

水文化を研究する市民団体「カッパ研究会」。

現在、個人や法人からの寄付を募っている。さらに同基金のPR

のためにロゴマークを作り、使用してもらえらる各種団体も募集している。

集まった寄付金は、保津川流域での清掃や生態系保全、水や河川をテーマにした講演会などの活動を対象に、1団体につき10万〜50万円を助成する予定で、今年冬ころから助成を希望する団体の受け付けを始めるという。

プロジェクト保津川の代表理事を務める京都学園大経営学部の坂本信雄教授は「市民の手で保津川を守っていく資金の流れができた。寄付をきっかけに川に関心を持ってもらい、環境改善につなげたい」と話す。問い合わせは同財団 ☎075(354)8792。

(堀内陽平)